

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

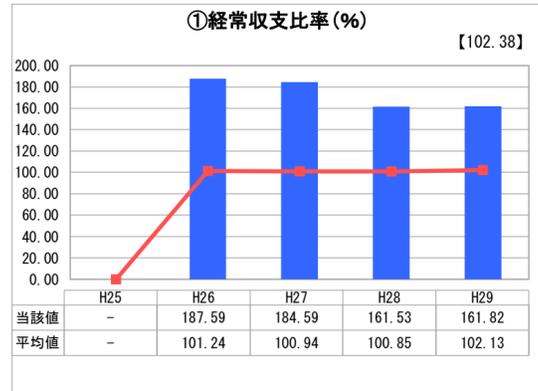
千葉県 柏市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	76.91	0.35	79.64	2,314

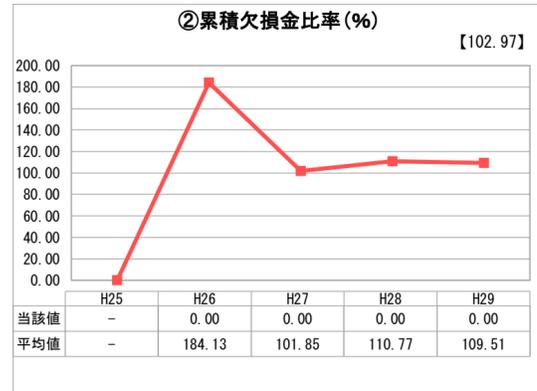
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
416,433	114.74	3,629.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,456	1.44	1,011.11

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

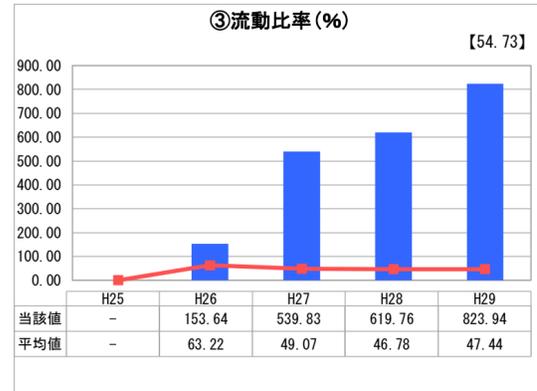
## 1. 経営の健全性・効率性



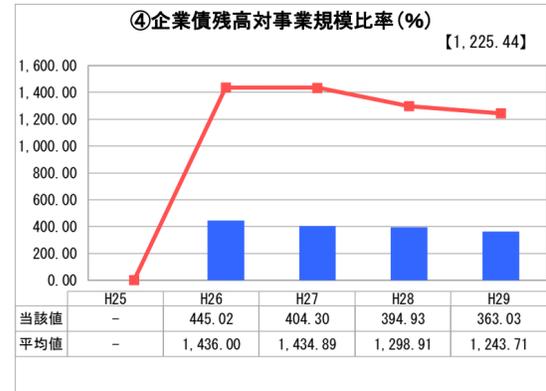
「経常損益」



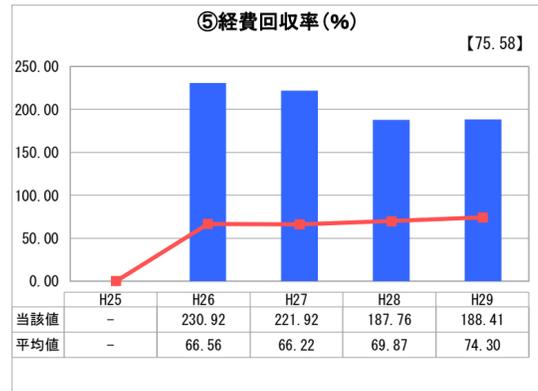
「累積欠損」



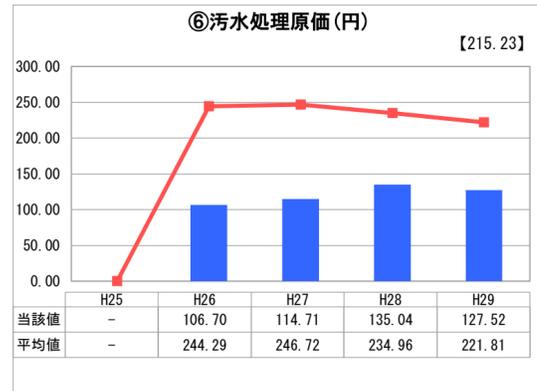
「支払能力」



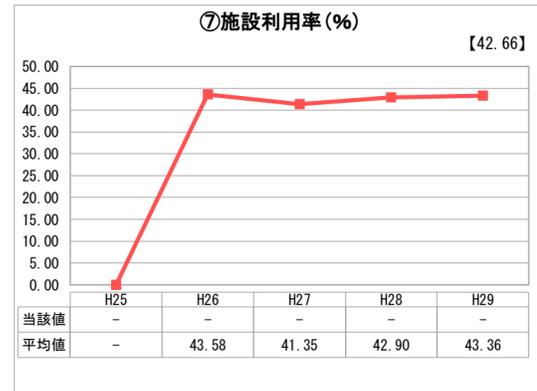
「債務残高」



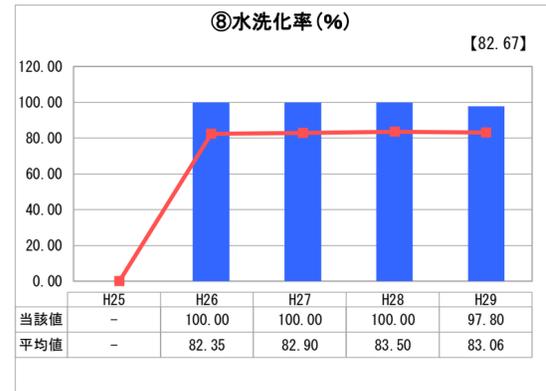
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

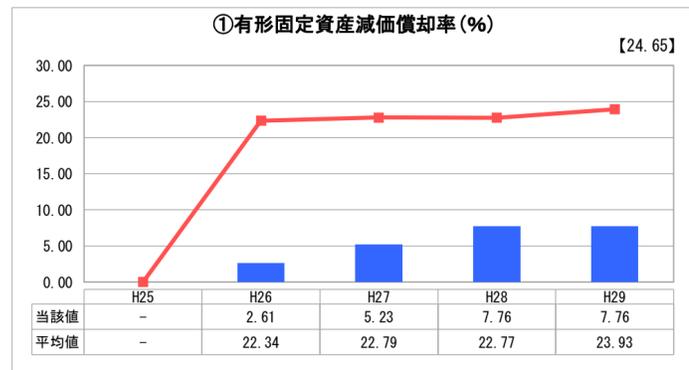


「施設の効率性」

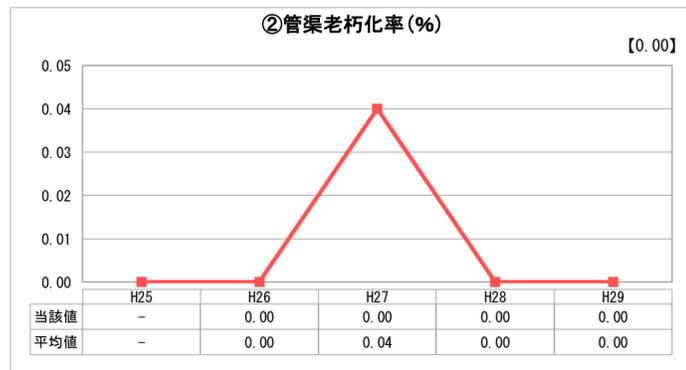


「使用料対象の捕捉」

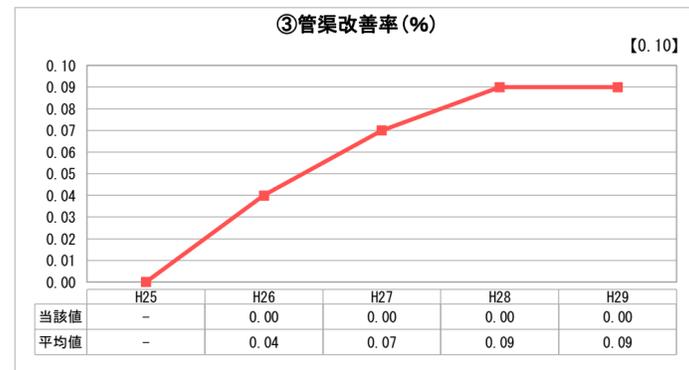
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

柏市における平成29年度時点の特定環境公共下水道の管渠延長は、全体の0.7%であり、対象区域の環境保全を目的に実施している。対象区域は市街化調整区域であり、その運営状況に大規模な変化は予測されていない。  
経営状況としては、経常収支比率及び経費回収率共に適正な水準を保持しており、経営状況は安定している。

### 2. 老朽化の状況について

平成7年に供用開始されたこともあり、現在のところ老朽化の問題には直面していない。  
ストックマネジメント計画に則り、適切に管理していく。

### 全体総括

事業の性質上、地域の環境変化を踏まえつつ運営してゆくことが重要である。  
経常費用の圧縮などを行い、引き続き安定運営を心掛けたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。  
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。